

News Release

2016年7月29日

会社名：ノーリツ鋼機株式会社

代表者名：代表取締役社長 CEO 西本 博嗣

(コード：7744 東証第1部)

慢性腎臓病の発症予防や早期発見に向けて 「CKD リスクチェック」の提供を開始 ～将来の透析患者数の増加を抑え、医療費の削減に貢献する～

ノーリツ鋼機株式会社（代表取締役社長 CEO：西本博嗣、東京都港区）の子会社であるNKメディコ株式会社（以下、NKメディコ）（代表取締役社長：富永朋、東京都港区）は、慢性腎臓病（以下、CKD）の発症予防や早期発見のためのリスク検査「CKD リスクチェック」の提供を開始することとなりましたので、お知らせ致します。

1. 背景

CKD（Chronic kidney disease）は1つの病気の名前ではなく、腎臓の働きが徐々に低下していくさまざまな腎臓病の総称です。腎臓の障害が進行して腎臓の機能が果たせなくなる「腎不全」の患者数が世界的に増えていることや、CKDは脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患発症の危険性が極めて高いことから、予防啓発に積極的に取り組むために提唱された呼び名です*1。

現在、日本では約1,330万人がCKDと推計されており、これは成人8人に1人にあたります*2。新たな国民病とも言われており、厚生労働省や日本腎臓学会など関係団体でもその対策が進められています。

もしCKDを治療せず放置しておくと、最悪の場合は腎不全となり、人工透析が必要となる末期腎不全に至ることもあります。さらに、CKDは末期腎不全の危険因子だけでなく、脳卒中や心筋梗塞などの心血管疾患の強い危険因子であることもわかってきています。

また、透析患者数は2014年12月には32万人に達しています*3。高齢化の進行とともに患者数は年々増加傾向にあり、毎年3万人以上の方が新たに透析を導入されています。透析の医療費は1人あたり年間500～600万円を要しますが、この負担は医療費の公的助成制度により国・都道府県・市町村・健保組合が行うこととなり、医療費の増加に直結しております*4。

一方で、CKDは、医療の進歩により、生活習慣の改善や早期から適切な治療を受けることで、その発症や末期腎不全への進行を減らすことができる疾患です。

NKメディコでは「健康で豊かな社会生活に貢献する、新しい医療を提案」することをビジョンに掲げ、2012年より脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査「LOX-index®検査」を展開するなど、医療機関を始めとする様々なステークホルダーと共に予防医療の推進に取り組んできました。

このたびNKメディコは、更なる予防医療の推進に貢献し得る新しい検査項目として、CKDの予防や早期発見を目的としたリスク検査「CKD リスクチェック」の提供を開始致します。「LOX-index®検

査」を既に取り扱っている健診・人間ドック実施医療機関を中心に、現在受け入れ態勢を整えており、2016年9月1日より、検体受付・測定を開始致します。

2. CKD リスクチェックの概要

「CKD リスクチェック」は、「L-FABP (エルファブ)」と「尿中アルブミン」を組み合わせることにより、腎臓の機能が正常であるかを調べ、これまでよりも早期にCKDのリスクを判別することができる尿検査です。

現在、一般的な健康診断では試験紙法による尿蛋白や、血清クレアチニン値から計算する eGFR が実施されていますが、いずれも腎臓の機能障害がある程度進んでから (CKD ステージ2以降) でないとCKDを発見することが難しい状況です。

一方、「L-FABP」は腎臓の虚血による尿細管障害を反映しているため、腎機能の障害をより早い段階から捉えることができます。「CKD リスクチェック」は、この「L-FABP」と現在のCKD診断のゴールドスタンダードで、腎臓の糸球体障害を反映している「尿中アルブミン」を組み合わせることで、より早期かつ正確に腎機能の低下を把握し、高精度にリスク群を判別することができる検査です。

※CKD リスクチェックの詳細は別紙にてご確認ください。

3. 今後の取り組み

NKメディコでは「CKD リスクチェック」や「LOX-index®」など、重大な疾患の発症リスクを早期に発見し、予防に繋げる検査の提供に取り組んでいます。今後も様々な大学および研究機関との共同研究を引き続き進めていき、予測できる疾患を増やし、且つ測定の迅速化を図ってまいります。

NKメディコでは、これからも病気の予測から始まる新しい医療を、医療機関を始め予防医療の様々なステークホルダーと共に推進してまいります。

※出典元

*1,*2,*3,*4 生活習慣病からの新規透析導入患者の減少に向けた提言 (日本腎臓学会編)

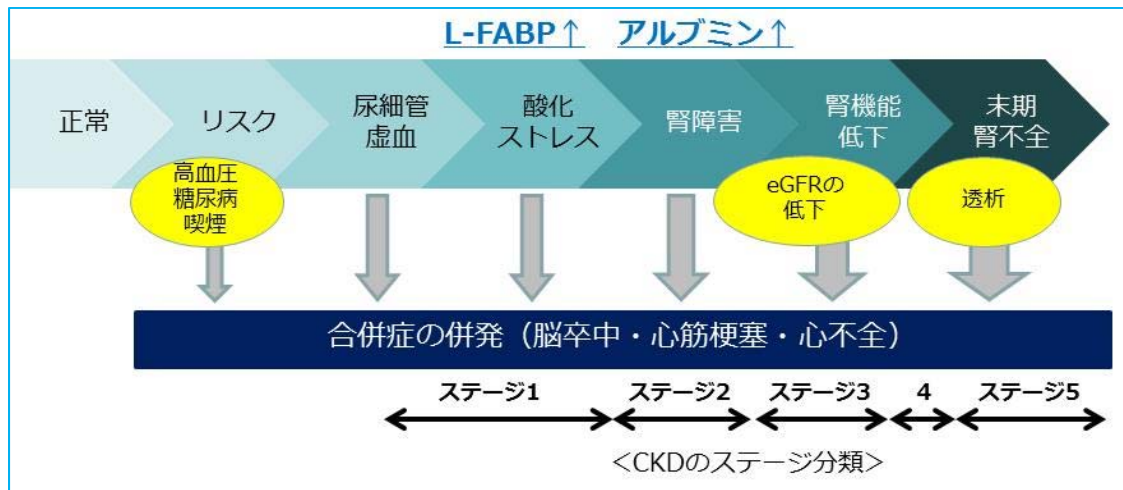
会社名	NKメディコ株式会社
代表者	代表取締役社長 富永 朋
設立	2010年7月
所在地	東京都港区芝大門2丁目5-5 住友芝大門ビル11階
資本金	1億2千万円
事業内容	予防医療事業
URL	http://www.nk-m.co.jp

【本件に関するお問い合わせ先】
NKメディコ株式会社 森崎、三谷
Tel : 03 - 5776 - 1105
E-mail : info@nk-m.co.jp

(別紙)「CKD リスクチェック」について

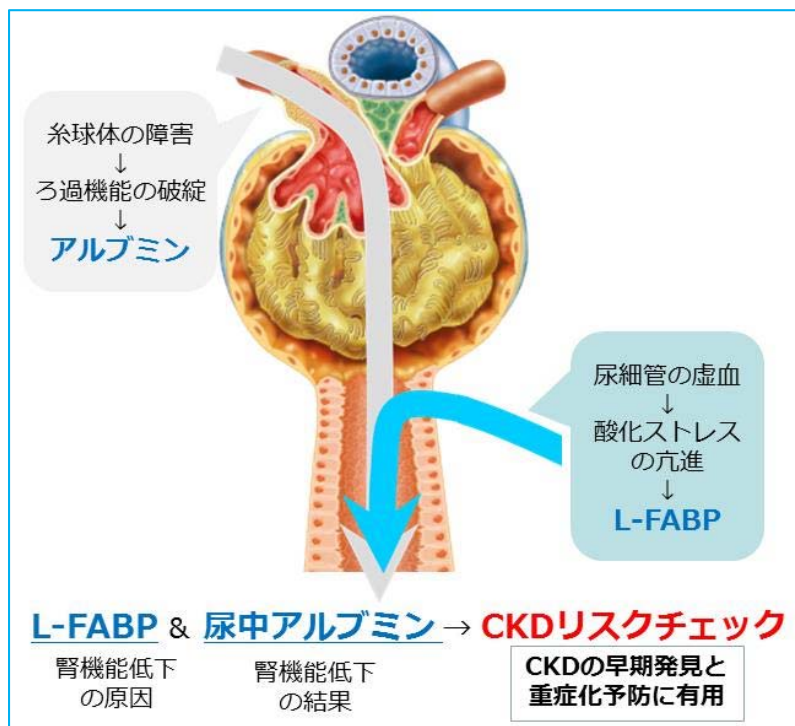
○ CKD の発症と進行の概念

尿蛋白や eGFR は、腎機能障害がある程度進んでからでないとも CKD を発見することが難しいと言われております。

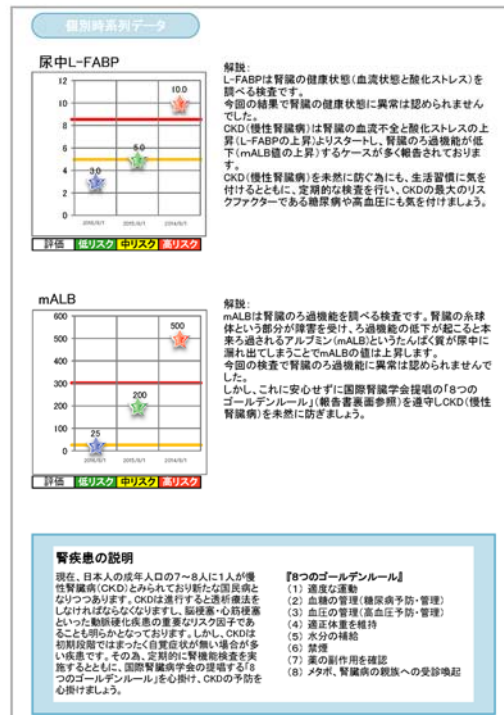
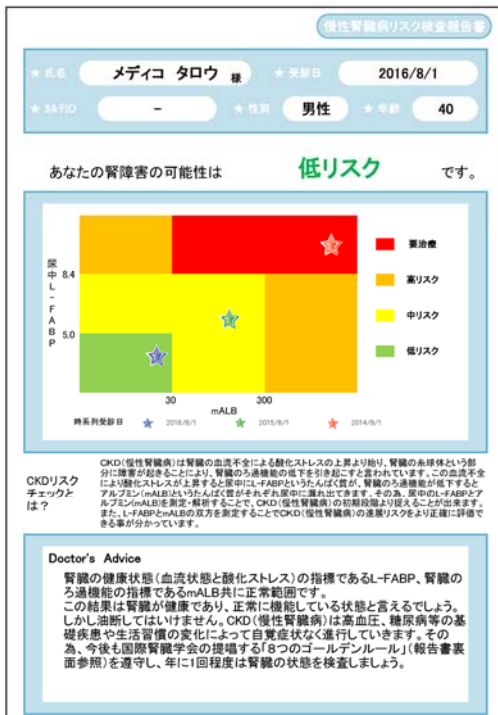


○ 「CKD リスクチェック」検査のメカニズム

「CKD リスクチェック」は、「L-FABP」と現在の CKD 診断のゴールデンスタンダードで、腎臓の糸球体障害を反映している「尿中アルブミン」を組み合わせることで、より早くかつ正確に腎機能の低下を把握し、高精度にリスク群を判別することができます。



- 数値のみでなく、独自のコメントを付加した報告書により、慢性腎臓病のリスクをわかりやすい形で、報告書として提供します。



以上